

平成29年度女性医師支援事業連絡協議会 平成30年2月14日（水）

関東甲信越・東京ブロック会議
平成30年1月6日（土）

長野県医師会常務理事 飯塚康彦
長野県医師会勤務医委員会委員 黒川由美

病児保育施設について

- 平成30年1月6日開催の関東甲信越・東京ブロック会議において、病児保育施設について、意見交換が行われました。
 - 医師の離職防止や再就業を促進するためにも病児保育施設は重要
 - しかしながら、現状の病児保育施設は大半が赤字運営をしている
 - 新たに病児保育施設の設置となると、人材確保や運営費負担の問題など課題が多い
 - 茨城県医師会の取り組みを紹介

茨城県医師会の取り組み

- 医師保育支援事業（茨城県委託）

- （1）目的

- 地域で働く女性医師が近年増加する中で、子育て中の医師が仕事と家庭を両立させ、就業継続できる環境を整備することにより、女性医師の地域への就業、離職防止、県内への定着を促進する。

- （2）概要

- 茨城県、茨城県医師会、関係市町村及びファミリー・サポート・センターと連携し、子どもの一時的預かり等女性医師の就業を支援する。

医療機関の皆様へ

茨城県医療勤務環境改善支援センター事業
女性医師が活躍できる育児支援



育児支援モデル医療機関事例紹介

多主体協働で育む医師の 育児支援プロジェクト

子育てと
医療を
両立したい



ママとなるべく
近くにいたい！



子育ての悩み、
誰に相談すれば
いいの？



子供が体調を
崩したら
どうしよう…



お迎え早く
来ないかな



一般社団法人茨城県医師会



茨城県医師会では女性医師が活躍できる 育児支援体制づくりに取り組む医療機関をサポートしています

市町村ファミリーサポートセンターと連携した病児保育支援 水戸協同病院モデル

プロジェクトの流れ Project

水戸協同病院は、筑波大学附属病院水戸地域医療教育センターとして多くの女性医師が重要な役割を担っており、ライフステージにおいては結婚、出産の時期を迎えています。そこで、あらゆるステージにおいても女性医師が活躍を続けることができるように、行政や県医師会、医療機関の多主体協働による育児支援プロジェクトを立ち上げました。

話し合い①



病児保育は
人材や費用…
課題が多い



話し合い②

ファミサポ委員会を設立



ファミサポ会員登録



保育ルーム設置



人材

- ・ファミリーサポートセンター
- ・院内スタッフ

場所

院内の保育に適した場所

費用

事業補助金

今回利用したのは

- ・保育ルームの改装、備品購入
- ・保育料の病院負担分

※補助金についての問い合わせ先は裏表紙へ

うちの病院でも
できる？



はい、オーダーメイド承ります。
女性医師が必要としている支援の聞き取り、
院内支援体制の構築支援、地域の子育てサポーターとの
連携支援等を相談員がお手伝いします。



保育ルームの1日

前日 8:00 子どもと一緒に出勤 8:30 診療業務開始 11:00 診療の合間に様子を確認 14:00 午後の診療 17:00 お迎え 17:30 帰宅



熱は下がったけれど
まだ集団保育は
無理そう…



アドバイザーが
サポーターに派遣依頼。



保育ルームに預ける。
お預かり
します



お預かり
します



ママも
子どもも安心



お世話に
なりました



業務終了保育ルームにお迎え。
1日の様子の報告を受けます。



お預かり
します



業務終了を担当職員に
報告して子どもと一緒に
帰宅。

利用者のいいね！を
集約してより使いやすく、
改善点があれば適時
ファミサポ委員会に検討します



みんなの声 Our Voice

保育ルームに関わる方の声を集めました。

女性医師が自らのキャリア形成を含めて、能力を発揮し使命を全うできる環境を作ることは病院の責務です。水戸協同病院では約28名の女性医師が勤務し、出産育児をする方も多くなりました。女性医師の出産育児の身体的負担と心理的ストレス、職場復帰へのハードルを解消するために院内にファミリーサポート委員会を設置し育児室を整備しました。出産育児は女性だけの問題ではなく、家庭、職場の課題として取り組むべく名称を「ファミリーサポート」といたしました。
渡邊宗章院長



両親が遠方在住であるため、仕事復帰するにあたり子供の体調不良の時のことが唯一の心配事でした。水戸には病児保育を行っている園は数か所のみで、同一疾患の数名の受け入れがあるため、ファミサポの病児保育のことを知りだちにファミサポに登録しました。協会の会員の方は子育て経験のある方が多いため子供の扱いにも慣れていっしょにしゃべりますし、急なお願ひでも朝早くから受け入れて下さり、本当に感謝しています。また院内にファミサポルームがあるため、お昼休みに様子伺いに行くこともでき安心できますし、車の運転ができない私は院内でみて頂けて助かっています。
消化器科 熊倉有里医師



水戸協同病院や茨城県医師会をはじめとする方々の深い御理解と積極的な取組により、本事業が実現したことに感謝申し上げます。女性医師の皆さんが仕事と子育てを両立しながら十分に能力を発揮し続けられる環境を整えることは、医師不足の解消とともに、市民が安心して医療を受けられる体制づくりに大きく寄与するものです。今後も、しっかりと連携し、ワーク・ライフ・バランスの促進と子育て環境の充実努めてまいります。
水戸市子ども課子育て支援係
倉川健一さん 鈴木理紗さん



お母さんから離れ心細い気持ちでいるお子さんが、少しでも安心して過ごせるように協会員が愛情をかけてお預かりしています。病院スタッフの皆様のおかげで、保育ルームでの見守りに徐々に慣れてきたようです。利用者の皆様には保育ルームを活用していただき安心して活躍いただければ幸いです。大切なお子さんを託されることの重みと責任を常に意識し協会の資質の向上に努め、困った時に頼れる存在でありたいと思っています。
水戸ファミリー・サポート・センター
アドバイザー 渡邊敏江さん 青木由紀子さん



我々の目標は、「優秀な女性医師の獲得」と「効果的な臨床現場への定着」です。復帰支援に求められるのは、プライベートライフと両立しながら、単なる労働力としてではなく、チームの一員として責任とやりがいを感じながら、キャリアを磨いていくシステムの構築であると考えています。今後も保育ルームの積極的な稼働を目指し、各方面の協力をいただきながら、充実させていきたいです。
医局長 皮膚科部長 田口詩路麻医師



私は出産後3ヵ月で職場に復帰しました。復帰にあたり、育児との両立はやはり不安がありました。しかし、医局の先生方のご理解や、同時期に院内保育ルームの立ち上げもあり、幸いにも現在までなんとか両立できています。ファミサポとの連携で、急な発熱などの時に安心して保育を頼める環境があり大変助かっています。
感染症科
高村典子医師



勤務中は外来診療や検査など、抜けられない場面があります。そんな時に子供が病気になることも、子供も周囲も自分もとても大変な思いをします。幸い当院にはファミリーサポートセンターや医師会と連携してできた保育ルームがあり、子供が病気になることも仕事はそこで見て頂くことができます。お陰様で安心して仕事ができています。
神経内科
織田彰子医師



事業概要 Outline

女性医師が活躍できる勤務環境づくりに取り組む医療機関を応援します。

近年医師国家試験の合格者に占める女性の割合は約3分の1となっています。特に産婦人科・小児科については20代の女性医師の割合が半数を上回っている現状です。仕事と家庭を両立したいと考える女性医師は、育児中でもキャリアを中断せずなるべく早い時期に現場復帰したいと考えています。そのため、就業場所に保育施設などの環境が整っていることが勤務を続ける条件となっているものの、医療機関としては保育施設の運営にかかる費用負担が大きいことが課題です。

そこで、茨城県医師会女性医師就業支援事業（茨城県委託）では、子どもの急病時等で緊急的に職務の代りが難しい場合に、既存の院内保育施設と市町村ファミリーサポートセンターや民間ベビーシッター会社の派遣を組み合わせたオーダーメイドの子育て支援を実施できる院内体制の構築を支援します。

Point 1 取組みに係る費用の一部を助成します

茨城県では医師の子育てや働きやすい環境づくりを推進するため、仕事と家庭を両立できる働きやすい職場環境を整備している医療機関に対し、予算の範囲内において補助金を交付します。

茨城県働きやすい職場環境づくり事業補助金

茨城県保健福祉部医療人材課
医師確保担当
☎029-301-3191

Point 2 ファミリーサポートセンターやベビーシッター派遣を利用するメリット

子育て中はアクシデントの連続です。そのために常駐保育スタッフを雇用するのではなく、保育の依頼がある時だけ利用することができます。送迎や時間外、休日等の対応も可能です。
※ファミリーサポートセンターの活動内容は市町村によって異なります。
※ベビーシッター会社の対応地域は貴医師会にお問い合わせください。

Point 3 院内保育支援コーディネーターの設置推進について

院内保育支援コーディネーターとなるスタッフに、職場内で両立支援の旗振り役を担っていただくことにより、院内外と連携して個別性の高い課題解決につなげることができます。職場においてワークライフバランスを推進することは、職員のやる気アップ、病院のイメージアップ等様々なメリットが考えられます。

概要図

育児中の医師が子どもの急な体調不良等でも勤務先の医療機関内で対応することができる保育支援体制の普及を推進します。



事業に関するお問い合わせ・ご相談は

茨城県医師会女性医師就業支援相談窓口
☎0120-107-467 TEL. 029-241-7467
FAX. 029-241-7468

月～金 9:00～17:00 ※土日祝及び年末年始は休みです。

✉ i-dr.support@au.wakwak.com
🌐 <http://www.ibaraki.med.or.jp/women/>

医療機関の勤務環境改善に関するご相談は

茨城県医療勤務環境改善支援センター
TEL. 029-303-5012 FAX. 029-303-5116

月～金 9:00～17:00 ※土日祝及び年末年始は休みです。

✉ iryokankyo08@pure.ocn.ne.jp
🌐 <http://www.ibaraki.med.or.jp/kinmu-kankyo/>

長野県医師会の活動

● 医学生・研修医等をサポートするための会の開催

開催日 平成29年10月14日土曜日

時間 午後3時30分～午後5時

場所 信州大学医学部臨床医学教室棟第一臨床講堂

講演

演題 「泌尿器科女性医師としての歩み」

講師 東京女子医科大学東医療センター

骨盤底機能再建診療部 教授・診療部長

泌尿器科教授(兼任) 巴 ひかる 先生

医学生・研修医等をサポートするための会



平成 29 年

10 月 14 日 (土)

15:30 ~ 17:00

会場：松本市 信州大学医学部臨床医学教室棟
第一臨床講堂

参加
無料

プログラム

- 15:30 ● あいさつ
- 15:40 ● 講演
演題「泌尿器科女性医師としての歩み」
東京女子医科大学東医療センター
骨盤底機能再建診療部 教授・診療部長
泌尿器科教授(兼任)
巴 ひかる 先生
- 17:00 ● 質疑応答
- 17:00 ● 閉 会
- 17:10 ● 意見交換会(食事会)



終了後、外来診療棟 5F レストラン「ソレイユ」
において意見交換会(食事会)がごさいます。

お申込み・問い合わせ先

長野県医師会【総務課】
〒380-8571
長野市大字三輪 1316 番地 9
TEL: 026-219-3600
FAX: 026-235-6120
E-mail: office@nagano.med.or.jp
お申込みはチラシ裏面をご覧ください。

会場アクセス



〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1
TEL 0263-37-2580

松本「スターミナル1番線」から
「信大横田循環線」バスにて「信州大学前」下車(約15分)
長野道(松本IC)より約20分

■主催 長野県医師会

■共催 日本医師会・長野県



医学生・研修医等をサポートするための会 参加人数

	医学部学生		研修医		医師		その他		合 計		
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計	内訳 男性	内訳 女性
平成27年度	11	2	0	0	7	2	6	0	28	24	4
平成28年度	6	1	0	0	6	3	4	1	21	16	5
平成29年度	15	4	0	1	7	4	3	3	37	25	12



主催：長野県医師確保総合支援センター ・ 信大医学部 地域医療推進学講座

オリジナルキャッチフレーズ

地域を知ることは未来を知ること。さあ、みんなで男女共同参画！



～地域を支える専門家をお迎えして～

第1回 男女共同参画セミナー

日時：平成27年10月31日(土) 10時～15時

場所：信州大学医学部附属病院 4階 中会議室

医学生・研修医・医師そして地域の皆様、ふるってご参加ください。

プログラム 開会 10:00

<第一部> ★ 地域の「子ども」を支える

「そういえばさあ…子どもの頃、
子どもなりにいろいろなことを考えていたよね」

★ 「子育てのコツ、知りたいな！」

講演会1 10:10～11:00

「子どもの願いを汲みとる保育」の試み

～ しなやかさを育むやりとりの実際 ～

元・松本市岡田 なずな子どもの家 園長 牛山 佐智恵 先生

11:10～12:00 講師の先生との意見交換会

「みんなで作ろう！夢の保育園」

<<休憩>> 12:00～13:00 信大病院内のレストラン・売店・コーヒー店とも営業しています

<第二部> ♥ 地域の「こころ」を支える

「こころって、不思議だね…」

♥ 「精神科医の仕事について、知りたいな！」

講演会2 13:10～14:00

「現代のニーズにこたえる精神医療とは」

北アルプス医療センターあづみ病院 副院長

精神科医 村田 志保 先生

14:10～15:00 講師の先生との意見交換会

「みんなで作ろう！心の病を遠ざける行動目標」



プログラムの合間に
ハープの生演奏もあります。
お楽しみに！

(演奏者：松本市在住 市原寿美さん)



お問い合わせ 信州大学医学部地域医療推進学講座

0263-37-2548 (内線5890) 担当：黒川 まで



主催：長野県医師確保総合支援センター・信大医学部 地域医療推進学講座
オリジナルキャッチフレーズ

地域を知ることは未来を知ること。さあ、みんなで男女共同参画！

～医療を支える専門家をお迎えして～



第2回 男女共同参画セミナー

日時：平成28年10月15日(土) 13時～15時

場所：信州大学医学部 第一臨床講堂（1臨）

医学生・研修医・医師そして地域の皆様、ふるってご参加ください。

プログラム 開会 13:00

<講演会1> 13:00～13:30



「私が選んだ医師の道 ～ 厚生労働省 医系技監として生きる～」

長野県健康福祉部長 **山本 英紀 先生**



13:30～13:50 山本英紀先生との意見交換会

<<休憩>> 13:50～14:00

<講演会2> 14:00～14:30

「私が選んだ医師の道 ～ 産婦人科医として生きる～」

ほりうちレディースクリニック院長

産婦人科医 **堀内 晶子 先生**



<パネルディスカッション> 14:30～15:00 <司会：信州大学医学部地域医療推進学講座 黒川由美>

テーマ **「医師を取り巻く現代社会とライフステージに合わせた働き方」**

パネリスト：(ほりうちレディースクリニック 堀内 晶子 先生
信州大学医学部 医師・研修医 数名
信州大学医学部 医学生 数名

<講師ご紹介>

山本 英紀 先生は、平成10年に岡山大学をご卒業され、初期研修終了後に厚生労働省にご入省、平成26年より本省から長野県庁にご出向され、現在は長野県健康福祉部長をお勤めです。日本社会に「たばこの禁煙・分煙政策」を提案し、立案・施行を実現された露が関における立役者のお一人です。その際の貴重なご経験談を中心に、山本先生の医師人生物語を拝聴します。

堀内 晶子 先生は、平成4年に信州大学をご卒業され、信大産婦人科学教室へ入局、当時まだ女性産婦人科医が少ない中、出産・育児、学位取得、アメリカ留学をされ、帰国後は外来医長・統括医長・講師を歴任されました。現在は市内に産婦人科医院をご開業され、ご活躍されています。堀内先生の医師人生物語を拝聴します。

お問い合わせ 信州大学医学部地域医療推進学講座

0263-37-2548 (内線5890) 担当：黒川 まで





主催:長野県医師確保総合支援センター・信大医学部 地域医療推進学講座

オリジナルキャッチフレーズ

地域を知ることは未来を知ること。さあ、みんなで男女共同参画!

～医療を支える専門家をお迎えして～



第3回 男女共同参画セミナー

日時:平成29年10月14日(土) 13時～15時

場所:信州大学医学部 第一臨床講堂 (1臨)

医学生・研修医・医師の皆様、ふるってご参加ください。

プログラム 開会 13:00

『日本の医療問題に
模擬行政官として事例演習に参加し、
医療行政を体感する』

厚生労働省

講師:長野県健康福祉部長
山本英紀 先生(厚生労働省医系技監)



<事例演習 1> 13:00～14:00

「生活習慣病を予防するためには、
誰に優先的に介入(保健指導)すべきか？」

<<休憩>> 14:00～14:10

<事例演習 2> 14:10～15:00

「看護師の特定行為について
～医師と看護師の指示関係を法律的に解釈する(仮)」



(司会:信州大学医学部地域医療推進学講座 黒川由美)

<講師ご紹介>

山本 英紀 先生

平成10年に岡山大学をご卒業、岡山労災病院にて初期研修終了後に厚生労働省にご入省、平成26年より本省から長野県庁にご出向され、現在は長野県健康福祉部長をお勤めです。日本社会に「たばこの禁煙・分煙政策」を提案し、立案・施行を実現された霞が関における立役者のお一人です。気さくなお人柄の先生のご指導の下、みんなで模擬行政官に挑戦してみませんか？

お申込み・お問い合わせ 信州大学医学部地域医療推進学講座
0263-37-2548 (内線5890) 担当:黒川 まで



長野県の取り組み

- 病児等送迎・保育支援事業について

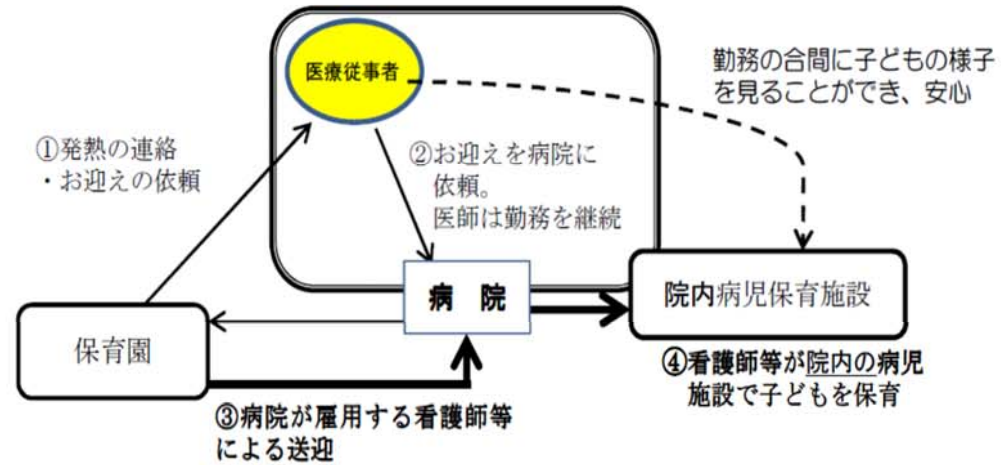
- (1) 病児等送迎サービス支援事業

子を養育する医療従事者が、子どもの急病等においても診療を継続できるように、医療機関が雇用する看護師又は委託契約を締結した民間送迎サービス会社等により、保育施設・病院・病児保育施設間の送迎等を行う体制を確保することに対する支援（病児は、病児保育施設で保育）

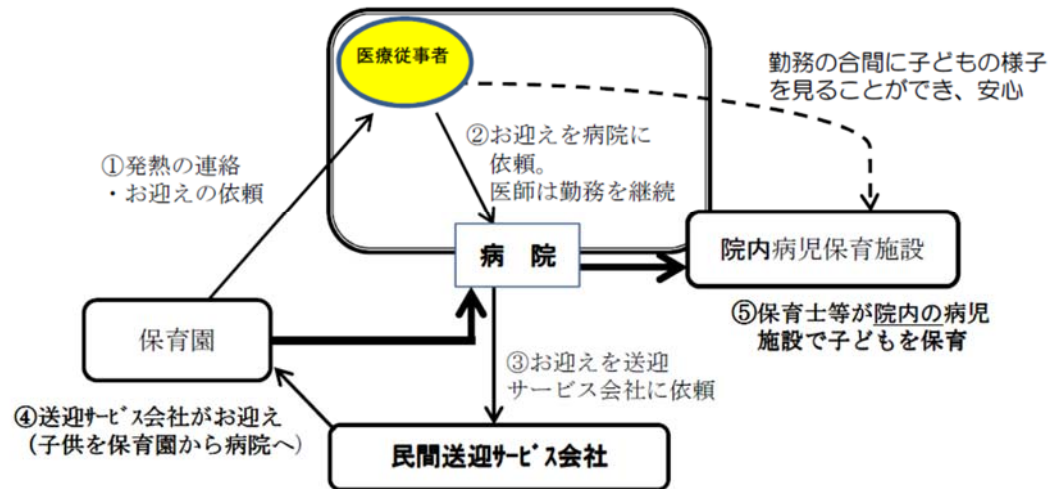
- 対象者：地域の保育所として病児保育に対応している医療機関
- 対象経費：導入初年度における次に掲げる経費

- ア 医療機関が雇用した送迎・保育を行う看護師等に係る人件費、交通費
 - イ 民間送迎サービスの利用に要した経費（交通費、保険料を含） 等

I 医療機関が雇用する看護師等が子どもを送迎(病院直営)



II 医療機関が外部(民間)送迎サービスを利用して子どもを送迎(院内施設で保育)

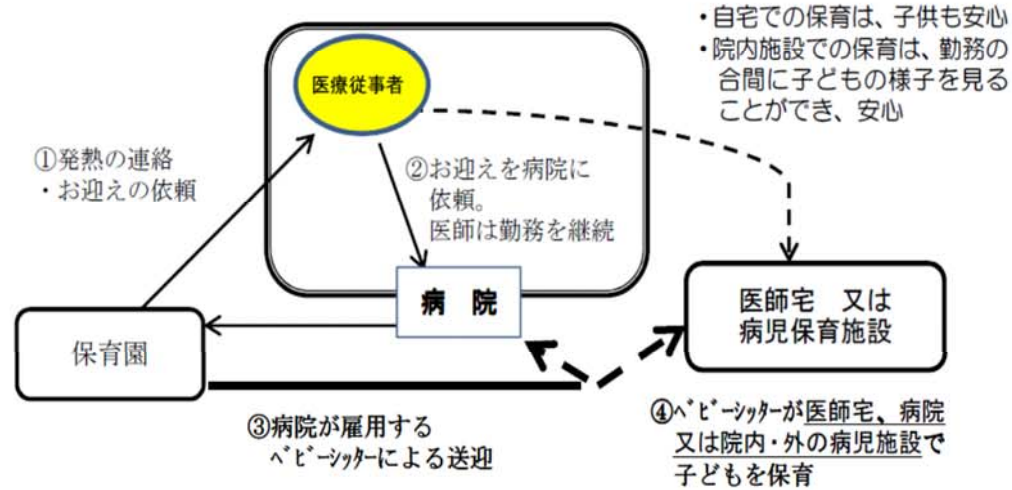


(2) 病児等ベビーシッターサービス支援事業

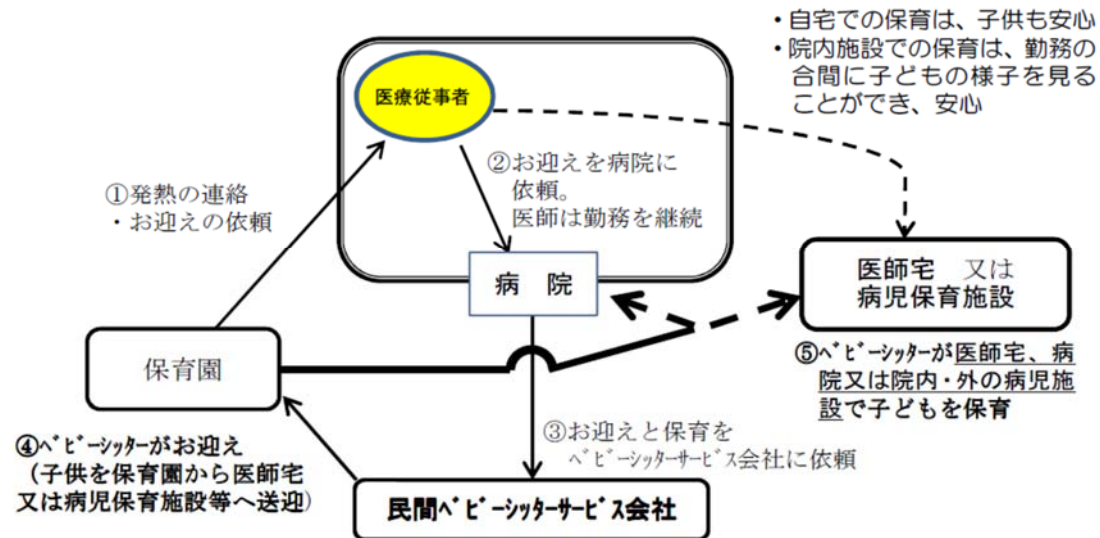
子を養育する医療従事者が、子どもの急病等においても診療を継続できるように、医療機関が雇用又は委託契約を締結したベビーシッター等による保育施設・病院・自宅等間の送迎及び病児の自宅等での保育等を行う体制を確保することに対する支援

- ・対象者：ベビーシッターを雇用、又は民間のベビーシッター会社との委託契約により、病児の送迎・保育等の支援を行う医療機関
- ・対象経費：導入初年度における次に掲げる経費
 - ア ベビーシッターの雇用に係る人件費、交通費
 - イ 民間ベビーシッターサービス会社の利用に要する経費（交通費、保険料を含む）等

I 医療機関が雇用したベビーシッターが、医師宅・院内施設等へ子どもを送迎・保育



II 医療機関が契約したベビーシッターが、医師宅・院内施設等へ子どもを送迎・保育



病院内 保育所見学ツアー IN 佐久・飯田・松本

1、事業内容

- (1) 対象者 : 医学生 (学年及び性別不問)
- (2) 内容 : 院内保育所の見学、ロールモデルとなる医師との懇談、病院見学
- (3) 見学施設 : 佐久・佐久医療センター : 夜間保育・24時間保育 (3/7, 9のいずれか)
飯田・健和会病院 : 病児・病後児保育 (3/5, 9, 12のいずれか)
松本・信大病院 : 保育受け入れ人数が多く、比較的大規模 (調整可能)

2 当日スケジュール (見学病院によって、内容は多少異なります。)

時間	場所	実施内容
8:00	集合 (松本駅アルパ入口)	※ 信大病院は 10:00 に現地集合
10:00	各院内保育所	・ 保育所職員による説明 (親の職種内訳・年間の行事予定・子供たちの生活 等) ・ 保育所内の見学 等
13:00	病院	・ 園へ預けている先輩医師との懇談 ・ 病院見学 等
15:00	終了	※ 終了時間は目安です。
16:30	解散 (松本駅)	



ご清聴ありがとうございました

